

**\* 杉崎さんのアルバムに雪をかぶった天文台構内古墳の写真発見**

アーカイブ室新聞 383号(2010年9月25日)に「杉崎さんのアルバムの寄贈」という記事を書いた。昭和46年(1971年)に天文台構内古墳の第1回発掘調査が行われ、その時のスナップ写真を探していて、当時天文台に勤務しておいでで、写真を趣味にしていた杉崎さんなら撮っているのではないかとお尋ねしていて、アルバムの寄贈を受けたのだが、残念ながら古墳発掘のスナップ写真はなかったが、雪をかぶった天文台古墳(写真1)の写真が1枚あった。



写真1 雪を被った天文台構内古墳(昭和49年2月とある)

幹事会議の報告によれば、古墳一帯のエノキ1本、梅の木13本が伐採されることになったようだ。写真1を見ると、この時、古墳に「梅の木」の苗木が植えられて間もないことがよくわかる。雪を被っていなければ苗木が植わっていることには気がつかないであろう。

アーカイブ室新聞 372号(2010年8月17日)に「第1回天文台古墳発掘調査(昭和46年3月)の写真発見」という記事を書き、その中に雪を被っていない写真2を紹介した。写真2の天文台構内古墳は現在とはずいぶん様子が違う。現在は梅の木の林の中に古墳があり、三鷹市の遺跡調査室から、植えられた樹木は古墳を破壊するから伐採してほしい

と要請が来ており、キャンパス委員会に諮られ、幹事会で伐採が決められた。この第1回発掘調査が終わった後、この円墳一帯に梅の木を植えたのは当時の用務員さんだったが、その頃には現在のキャンパス委員会のようなものが無く、用務員さんの判断で植樹が出来ていた。この古墳が貴重な歴史遺産という意識もなかった用務員さんには木の根っこが古墳を破壊する等という事は思いも及ばなかったのであろう。



写真2 昭和46年第1回発掘調査時の天文台構内古墳

このように、古い写真が発見されることにより歴史的な事実が判明することがあって、今回の杉崎さんのアルバムの寄贈は大変ありがたかった。

ちなみに、天文台構内古墳の現状は写真3のように梅林の中にある。



写真3 現状の天文台構内古墳